



第22-102号

2023年2月16日

駅や電車で移動中に、お子さまが泣き出してしまったときなどに安心してご利用いただけます

3月1日、小田急線7駅で「ベビーケアルーム」の展開を開始

～ お子さま連れの保護者の方は、どなたでも利用可能！完全個室で、おむつ替えや授乳など ～

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：星野 晃司）は、2023年3月1日（水）に、子育て世代の皆さまに小田急線をより快適にご利用いただくための取り組みとして、下北沢駅など7駅にて完全個室のベビーケアルーム「mamaro™（ママロ）」の展開を開始します。



ベビーケアルーム「mamaro™」



「mamaro™」利用イメージ

お子さまを連れた電車移動には、急に泣き出したり、ベビーカーの扱いなど、保護者の方の心配事は尽きません。当社では、昨年3月に「小田急の子育て応援車」の運用を開始し、まわりのお客さまへ温かな見守りを呼びかけるなど、子育て世代に安心して電車移動いただける環境整備を進めており、本施策も小田急線をより一層安心、快適にご利用いただくための取り組みです。

今般、小田急線 代々木八幡・下北沢・登戸・相模大野・秦野・大和・鶴間駅の7駅に設置するのは、Trim社製の設置型・可動式のベビーケアルーム「mamaro™」です。1. 28㎡の空間にソファやスツール、コンセントがある完全プライベート空間として、人目を気にせず、おむつ替えや授乳などに、お子さま連れの保護者の方であればどなたにもご利用いただけます。

設置する7駅は、乗換駅や駅構内に多目的スペースがない駅などから選定しており、ご利用状況やご要望等に応じて、常設箇所を検討してまいります。

当社では、2021年11月に「子育て応援ポリシー」を策定し、お子さまのICカードによる小田急線利用を、乗車距離を問わず一乗車一律50円に低廉化するなど、鉄道会社ならではの子育て応援策を推進しています。

本取り組みは、駅の在り方を地域の魅力発信拠点などに変革するプロジェクト「Meets at STATIONS！」の一環としても実施しました。今後も小田急線でお出かけになるご家族の「かけがえのない時間」への貢献に努めてまいります。



「子育て応援ポリシー」ロゴ

「小田急線7駅で『ベビーケアルーム』の展開を開始」の概要は下記のとおりです。

記

- 1 使用開始日 2023年3月1日(水)
- 2 ご利用時間 7時30分～19時00分
※ 上記時間外でも駅係員へお申し付けいただければご利用可能です。
- 3 設置駅 代々木八幡駅、下北沢駅、登戸駅、相模大野駅、秦野駅、大和駅、鶴間駅
- 4 概要 Trim社製設置型ベビーケアルーム「mamaro™」について
 - ・可動式の完全個室ベビーケアルーム。授乳だけでなく、おむつ交換や離乳食、寝かしつけや着替えなど、幅広い赤ちゃんケアにご利用いただけます。
 - ※ミルク用のお湯の提供やゴミ箱はありません。
 - ※清掃スタッフによる1日1回以上の定期清掃のほか、駅係員による巡回時の簡易清掃を実施します。
 - ・室内設備はソファ、スツール、モニター、コンセントです。
 - ・室内面積は1.28㎡で、室内の高さは190cmです。
 - ・お子さま連れの女性の方だけでなく、男性の方もご利用いただけます。
 - ・利用は無料です。マナーを守り譲り合ってのご利用をお願いします。

【参考1】子育て応援ポリシー

当社は子育て応援ポリシー「子どもの笑顔は未来を変える。Odakyu パートナー宣言」を策定し、お子さまと子育て世代に安心、快適に楽しく鉄道をご利用いただくための取り組みを推進しています。子どもの笑顔を作る子育てパートナーとして子育てしやすい沿線を目指します。

【参考2】「Meets at STATIONS!」プロジェクト

当社では、普段ご利用いただいている「駅」を、お客さまが地域の魅力や文化に触れたり、新たな出会いを楽しんだりできる体験をもたらし、お客さまの“日々のくらしをゆたかに彩る”コミュニケーションの場へと発展させ、地域の価値を創造する「Meets at STATIONS!」プロジェクトを推進しています。



「Meets at STATIONS!」が目指す姿

以上